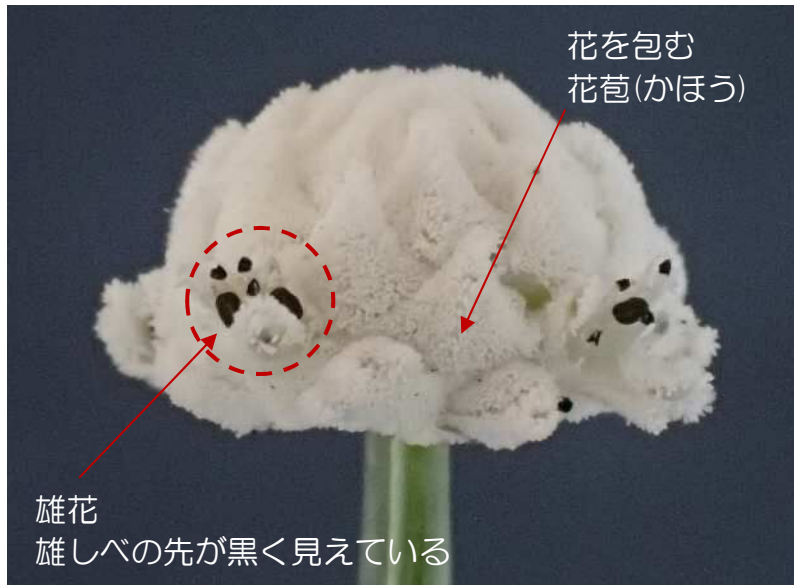


★細い茎の先に白くて丸い頭花がついている。小さな頭花は砂糖菓子の金平糖(こんぺいとう)に見えることから「金平糖草(こんぺいとうぐさ)」とも呼ばれるよ。



花は小さすぎて、肉眼ではほとんどわからないけれど、丸い玉の表面にごみのような黒いものが見えたら、それは雄花の雄しべの先。



雌花も雄花も、白い花びらのような花苞(かほう)に包まれている。

2006年8月発行 2024年9改正 名古屋市東山植物園

東山植物園セルフガイドシート⑤ 植物園たんけん隊

シラタマホシクサ

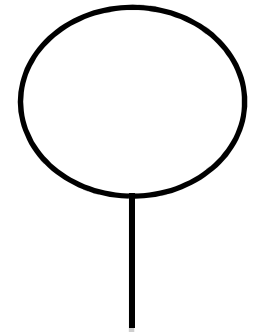
___月___日 なまえ_____

見られる場所：しっちえん がっしょうづく湿地園(合掌造りの家向かい側)

見られる時期(シラタマホシクサ)：9月(8月から白いつぼみが出て、花のあともドライフラワー状で10月まで見られる)

★漢字で書くと「白玉星草」、たくさん生えているようすは、水玉模様にも、銀河のようにも見える。あなたの第一印象は?〇〇みたい?

★丸く見えるのは、「とうか頭花」、たくさんの花の集まりだ。よく見ると小さな小さな花が順番に咲いている。花は白い玉のどの部分から咲くのかな?



★花が咲いてくるにつれて、玉は大きくなる。今日見た一番大きな「白玉」は直径何センチ?
ちよっけい

※花をちぎったり抜いたりしないで観察してね

★花が咲いてくるとほんのり甘い香りがする。よく香る時間帯があるみたいだ。香りを感じたら、何時ごろだったか、どんな香りが記録しよう。

★じつはシラタマホシクサには雌花めばなと雄花おばながあって、一つの頭花とうかに不規則に混ざって咲く。雄花には黒いおしべが目立つが、雌花のめしべは目立たない。雌花・雄花をさがしてみよう。

★シラタマホシクサには「茎くき」はほとんどなく、葉っぱも細くて短く目立たない。目につくのは細い「花茎かけい」と「頭花とうか」だけ。一年草だけど、生える時期や場所によって大きさがずいぶんちがう。一番背が高いのは何 cm くらいあると思う？目測しよう。

★シラタマホシクサの茎は、よくみるとねじれている。ねじれることで細い茎を強くして、ポキッと折れたり、ちぎれたりしにくくなっているよ。



ねじれた茎



茎がほどけたようす

茎は糸のような強い繊維せんいが束になったような形で、本当にロープのようだ。

ホシクサのなかま（ホシクサ科）は日本に23種類あるとされる。

（日本の野生植物 平凡社より）

小さく渋い花が多い中で、飛び抜けてきれいなシラタマホシクサは、愛知県・三重県・静岡県の伊勢湾に近い地域でしか見られない「特産種」だ。現在、生育地となる湿地が開発や環境の変化で減ってしまったり、採取などの被害によって数が減っているため絶滅危惧種（ぜつめつきぐしゅ）に指定されているよ。